

警戒区域内に取り残されている動物の保護活動継続と、
被災動物を将来にわたっても絶対に殺処分しないことを求める要請書

内閣総理大臣 野田佳彦 殿
経済産業大臣 枝野幸男 殿
環境大臣 細野豪志 殿
福島県知事 佐藤雄平 殿

平成24年 ____月 ____日

平成24年3月1日から3月19日にかけて、3回にわたる警戒区域内の犬猫集中保護活動が取り組まれてきましたが、いまだ十分な成果は上がっていないと言わねばならない状況です。

福島をはじめとする被災地では、多数の民間動物救護ボランティアが活動しています。その多くは動物の行動や習性を熟知し、実践的経験も積んだチームです。

どうかそうした優れた民間の力を活用し、一刻も早く、全頭救出を目指す規模の、本当に成果が上がる「一斉保護」を実施してください。

また、一部報道その他の情報によれば、警戒区域に残留する動物について、今後は保護ではなく、殺処分も有り得る捕獲になるとの見方や、現在行政に保護されている動物も、収容施設の規模縮小廃止などに伴い、順次殺処分されていくのではないかと懸念が伝えられています。

現在警戒区域に取り残されている動物も、行政に収容されている動物も、ともに大震災と原発事故という、人間ですら経験したこと無かった未曾有の大災害を生き抜いてきた尊い命であることにかんがみ、将来にわたっても絶対に殺処分することが無いよう、強く要請いたします。

この件につきましても、保護活動に積極的な民間ボランティアの活用を図っていけば、それによって国民の関心が高まりますから、保護された動物の譲渡が促進されるものと確信いたします。

避難から一年あまりが経過した今はもう、一刻の猶予もありません。動物の愛護及び管理に関する法律の立法趣旨と、広範な国民の生命尊重感情を尊重すべき政府、行政の責任において、本要請を速やかに実行に移していただきますよう、重ねて強く要請いたします。

以上

要請人

住所(都道府県名から) _____

氏名(自署の場合は押印不要) _____(印)

住所(都道府県名から) _____

氏名(自署の場合は押印不要) _____(印)

住所(都道府県名から) _____

氏名(自署の場合は押印不要) _____(印)

住所(都道府県名から) _____

氏名(自署の場合は押印不要) _____(印)

住所(都道府県名から) _____

氏名(自署の場合は押印不要) _____(印)